

**CQ6-08 (1) 尿失禁の診断は？***Answer*

1. 問診により尿失禁の病態を分類する. (B)
2. 排尿直後の残尿量が 50~100mL 以上と評価されれば専門医受診をすすめる. (B)
3. 婦人科診察で骨盤内疾患を検索し, 原因となる器質的疾患が認められればその治療を優先する. (A)
4. 尿検査で反復する血尿が認められれば, 膀胱がんなどの器質的疾患が疑われるため専門医受診をすすめる. (A)

## ▷ 解説

尿失禁については, 1992年に米国 Agency for Health Care Policy and Research から「成人尿失禁のガイドライン」が<sup>1)</sup>, わが国でも平成12年度厚生科学研究費補助金事業として「高齢者尿失禁ガイドライン」が作成されているが<sup>2)</sup>, その内容は多岐にわたるため, ここでは一般産婦人科医を対象とした診療アルゴリズムを提示し, 尿失禁の診断に必要な知識ならびにエビデンスを解説する.

尿失禁とは, 「尿の無意識あるいは不随意的な漏れが衛生的または社会的に問題となったもの」と定義される. つまり, 患者自身から「尿が漏れて困る」との訴えがあった時点で, 尿失禁と診断される. 尿失禁は, その症状からいくつかに分類されるが, 女性の尿失禁の大部分は①腹圧性尿失禁, ②切迫性尿失禁, ③混合性尿失禁, ④溢流性尿失禁である. 腹圧性尿失禁とは, 「咳やくしゃみ, 運動時など腹圧上昇時に, 膀胱の収縮と無関係に尿が漏れてしまう状態」であり, その原因として尿道過可動 (urethral hypermobility) と内因性括約筋不全 (intrinsic sphincter deficiency: ISD) が挙げられる. 切迫性尿失禁とは, 「我慢することができない突然の尿意とともに尿が漏れてしまう状態」であり, その原因として神経因性而非神経因性が挙げられる. 混合性尿失禁とは, 腹圧性尿失禁と切迫性尿失禁が混在する状態である. 溢流性尿失禁とは, 「尿が膀胱に充満し, 尿道から溢れ漏れ出る状態」であり, その原因として排尿筋収縮力低下と下部尿路閉塞が挙げられる. ウロダイナミクス検査等が必要となるため, 専門医へ紹介することが望ましい.

1. 尿失禁の病態を分類するには詳細な問診が必要であるが, これには問診票などを使うと簡便にできる. 参考までにわが国でしばしば用いられている問診票を図に示す<sup>3)</sup>. この問診票は, 腹圧性尿失禁スコア (stress score) と切迫性尿失禁スコア (urge score) で構成されており, この問診票より得られたスコアをプロットし, 領域 a, b, c は腹圧性尿失禁, 領域 g, i, j は切迫性尿失禁, 領域 e, f, h は混合性尿失禁と診断される<sup>4)</sup>. さらに, この問診票は重症度判定にも有用であることが報告されている<sup>5)</sup>. 腹圧性尿失禁では stress score が 10~17 で軽症, 18~23 で中等症, 24~26 で重症と判定でき, 切迫性尿失禁では urge score が 12~18 で軽症, 19~22 で中等症と判定できる.

2. 残尿測定は, 排尿直後の残尿量を測定する. 直接導尿にて測定する方法と超音波検査にて近似値を得る方法があるが, 直接導尿は正確な残尿量が測定できるが侵襲的であるため, 超音波検査による近似値で評価することがすすめられる. 近似値の求め方は, 残尿量を RUV (mL), 膀胱の縦 a (cm), 横 b (cm), 深さ c (cm) とした時, 楕円体の体積として,  $RUV = \pi/6 \times abc \approx 1/2 \times abc$  で求めることができる. 排尿直後の残尿量が 50~100mL を超える場合は, 膀胱機能の精密検査が必要となるため, 専門

	stress-score	urge-score
1. あなたは尿が漏れることが、どのくらいありますか？		
① まれに	1	
② 時々	1	
③ 毎日、一日何回も		1
④ 持続的		1
2. どのような時に尿が漏れましたか？		
① せきやくしゃみをした時	1	
② 座っていたり、横になっている時		1
3. 尿を漏らした時の量はどうか？		
① 数滴～少量と少なかった	1	
② 比較的多かった		1
4. 毎日どのくらいの間隔でトイレに行きますか？		
① 3～6 時間ごとに	3	
② 1～2 時間ごとに		2
5. 夜寝てからもトイレに行きますか？		
① 一度も行かないか、一度だけ行く	3	
② 2 回以上またはひんばんに何度も行く		3
6. 夜寝ている時に尿を漏らしたことがありますか？		
① ない	1	
② よくある		1
7. 尿意を感じた時、がまんできますか？		
① がまんできる	3	
② すぐに (10～15 分で) トイレに行かないと漏れてしまう	2	
③ がまんできずに、漏れてしまう		3
8. トイレに行く途中で尿を漏らしてしまったことがありますか？		
① まったくないか、またはまれにしかない	3	
② ほとんどいつも漏れる		3
9. 突然強い尿意を感じて、そのため我慢できずに尿を漏らしたことがありますか？		
① ない	3	
② 時々、またはよくある		3
10. 出している尿を途中で止めたり出したりできますか？		
① できる	1	
② できない		2
11. 排尿した後、残尿感 (尿がまだ残っているような感じ) はまったくないですか？		
① はい	1	
② いいえ		1
12. トイレに行きたいぐらいの尿意が頻回にありますか？		
① まったくない	3	
② ある		3
③ 非常にある		2
13. 出産経験はありますか？		
① はい		1
② いいえ		
14. あなたにとって尿が漏れることはどうですか？		
① 時々悩ませるだけか、あまり気にならない	1	
② 非常に困っている		1
15. あなたの体重はどれくらいですか？		
① 65 kg より軽い		
② 65 kg 以上	1	

(文献3より引用)

stress score	19~26	a			
	13~18	b	e		
	7~12	c	f	h	
	0~6	d	g	i	j
		0~6	7~12	13~18	19~26
		urge score			

腹圧性尿失禁：a,b,c 切迫性尿失禁：g,i,j  
 混合型尿失禁：e,f,h

(図) 尿失禁に関するスコア化された問診票

4. 過活動膀胱については CQ6-11 を参照.

---

文 献

---

- 1) Klarskov P, Belving D, Bischoff N, Dorph S, Gerstenberg T, Okholm B, et al.: Pelvic floor exercise versus surgery for female urinary stress incontinence. *Urol Int* 1986; 41 (2): 129—132 (I)
  - 2) McDowell BJ, Engberg S, Sereika S, Donovan N, Jubeck ME, Weber E, et al.: Effectiveness of behavioral therapy to treat incontinence in homebound older adults. *J Am Geriatr Soc* 1999 Mar; 47 (3): 309—318 (I)
  - 3) Bo K, Talseth T, Holme I: Single blind, randomised controlled trial of pelvic floor exercises, electrical stimulation, vaginal cones, and no treatment in management of genuine stress incontinence in women. *BMJ* 1999 Feb 20; 318 (7182): 487—493 (I)
  - 4) van der Linden MC, Gerretsen G, Brandhorst MS, Ooms EC, Kremer CM, Doesburg WH: The effect of estriol on the cytology of urethra and vagina in postmenopausal women with genito-urinary symptoms. *Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol* 1993 Sep; 51 (1): 29—33 (I)
  - 5) Fantl JA, Bump RC, Robinson D, McClish DK, Wyman JF: Efficacy of estrogen supplementation in the treatment of urinary incontinence. The Continence Program for Women Research Group. *Obstet Gynecol* 1996 Nov; 88 (5): 745—749 (I)
-